

国際ロータリー第2560地区
ガバナーテーマ

「楽しいロータリーで
つながろう」

高田ロータリー今年の
スローガン

「地域、次世代と共に、
明るく!楽しく!!朗らか!!!に
奉仕を実践しよう」



2019～2020年度

国際ロータリー会長 マーク・ダニエル・マローニー
2560地区ガバナー 大谷 光夫
高田ロータリー会長 高坂 光一
幹事 高橋 正彦

事務局:新潟県上越市西城町2-10-25 大島ビル201号
TEL (025) 526-3288 FAX (025) 526-3534
メールアドレス: takadarc@joetsu.ne.jp
例会場: デュオ・セレッソ TEL (025) 526-3111

クラブ広報・会報・雑誌委員
加藤 公一 宮川 大樹 藤林 陽三 山田 守
木村 隆

第10回例会 ■ 9月13日(金)

No.10

会長挨拶 ● 高坂 光一

第34回国民文化祭・にいがた2019が
始まります(期間9/15～11/30)



地区大会まで43日となりました。
再来週9月28日にはIMが開かれ
ます。皆さんよろしくお願ひ致しま
す。

9月12日(木)に以前から気になっ
ていた越後春日山 RC の「義の塩作り」に参加
しました。この事業は谷浜小学校6年生と一緒に海
水を汲み塩田を模した砂浜に撒くところから始め
良い体験ができました。前後しますが、9月8日
(日)は今年度4回目の春日山美化活動、当日はア
クトの日と重なり現役メンバーは参加できません
でしたが、彼らが連絡を取りOB4名が参加してく
れたことは嬉しい限りです。

さて、今日は中秋の名月です。晴れていれば
20時頃から23時頃が見頃かと思ひます。皆さん
も綺麗な月を楽しんでいただければと思ひます。

ところで、先週末猛威を奮った台風15号では、
当社鹿島営業所も室内浸水、看板が飛ぶ等の被害
を受けました。千葉県内では未だ大規模な停電、
断水が続いています。長引くと熱中症、衛生面で
心配です。一日も早く復旧することを祈ります。

最後に、9月15日から第34回国民文化祭・に
いがた2019が始まります。以前ご案内をした特
別連携事業「人形浄瑠璃山椒太夫」もお陰様で上
越を含め満席の会場が増えてきていると知らせが
ありました。まだ募集を始めていない新発田・村
上・柏崎再公演もこの勢いになるよう頑張ります。

出席報告

出席率 98.0%

メイクアップ

堀井靖功君(9/3三条北RC 卓話:「ロータリー
の友」は、それぞれの人生の『宝船』)
高橋正彦君・羽深耕時君・本山秀樹君・箕輪賢一
君・笹川 裕君(9/11IM 記念親睦ゴルフ大会)
大谷光夫君・飯塚宏佳君(9/12加茂RC 公式
訪問)
高坂光一君(9/12越後春日山RC)

委員会報告

親睦委員会——9月のお誕生日 各お祝ひ



遠藤地区大会実行委員長——地区大会ご協力のお
願ひ

幹事報告

配布物: 会報No.9

回 覧: 国際ソロプチミスト上越会報

報 告: IM ゴルフ大会参加報告、新井 RC 創立
60周年記念事業講演チケットについて、
次週9月20日は休会日

ガバナーインフォメーション

今後の公式訪問予定

9月24日	栃尾 RC
25日	長岡東 RC
26日	新発田中央 RC・ 新発田城南 RC
27日	吉田 RC
30日	柏崎東 RC

10月例会プログラム

回	日	講演者：演題	会場
13	10月4日	卓話 新潟経済大学 教授 中島 純様 演題『ひとづくり まちづくり 自分づくり』 —新潟の希望と若者に期待するもの—	デュオ・セレッソ
14	10月11日	お月見例会<夜例会>	長養館
15	10月18日	卓話 移住・定住コンシェルジュ 柳原 志保様 演題 上越のすばらしい生活	デュオ・セレッソ
16	10月25日	卓話 越後一宮 居多神社宮司 花ヶ前 盛明様 演題 未定	デュオ・セレッソ

卓話 弁護士の仕事



弁護士法人つばき

上越つばき法律事務所 弁護士 原野 聖子様

「弁護士って、どんなことやっているの？」と時々聞かれます。「いろいろやっていますよ」とお答えします。具体的な内容をお伝えしようと試みますが、大抵は、途中で「よく分かんないや」と言われてしまいます。自分の説明力不足と興味を持っていただけるように話す力のなさを痛感し、落ち込んだりします。

「ごめんね」「大好きだよ」を積極的に言葉にしないで、と感じます。

そこで、本日は、「弁護士」一般論をお話するのではなく、「私は何をやっているのか」をお話してみたいと思います。

企業顧問業務は、地元の企業に強くあってほしいという願いから、近年、積極的に取り組ませていただいています。児童相談所の法務嘱託員の業務を通じて、親御さん（働く方）の経済的・精神的安定が重要であると感じ、雇用の維持拡大、働きやすい職場であることが、多くの問題解決につながると思うためです。

私は、最近、相続案件、成年後継人業務、企業顧問業務、児童相談所の法務嘱託員の業務をしています。億単位の遺産相続案件もありますが、意外にももめるのは、相続税申告義務のない、比較的少額の案件だったりします。数十年来抱えておられた不満（不平等感）が、相続をきっかけに表面化するのだと思います。親としては平等に接しているつもりでも、それが相手に伝わっていない

いろいろな人がいて、いろいろな問題、課題が生じます。その解決のお役に立てるよう、自分の経験と想像力、周囲の方々のご協力を得ることなど、あらゆる手段を駆使して、取り組んでいます。弁護士には、人間力が必要であると感じています。

まだまだ学ばなければならないことが多く、力不足を感じることも多いですが、失敗から学ぶことも多く、弁護士の仕事に、とてもやりがいを感じています。

「もう一つの顔」①

藤林 陽三 さん(下)

地下セラーの「守り神」は、貴腐のアイスワイン。ドイツ・モーゼル川流域の山のとっぺんで生まれた。醸造家が5本しか造らなかった逸品を回してくれた。45年前のことだ。

そんなボトルがごろごろしている。ノート2冊に、1本ごとの保管位置と、いわれを記録。地下の450本と、普段飲み用の冷蔵庫型クーラー内の計600本を管理する。

医師として学会などで遠出した折にも、掘り出し物を探す。もはや飲むことよりも集めることが醍醐味？ 夫人からは「早く飲まなくちゃね」と

笑われている。

高級品を買うには理由もいる。「例えば子供の医師国家試験合格記念とか、孫の誕生、文化協会会長就任なんて「記念品、ばかりだから」と、なかなか手を付けられない。還暦の孫に飲んでほしい一本は、あと50年の時を刻む必要がある。

暖炉の前に一家が集まり、記念のワインを開けるひとときは格別だ。豊かな香りとともに、はるかな記憶がよみがえる。

セラーは、思い出を育む「宝庫」なのだった。
広報・会報・雑誌委員会 木村